

令和4年度

奈良県公立高等学校入学者一般選抜学力検査問題

国語

注 意

- 1 指示があるまで開いてはいけません。
- 2 解答用紙には、受検番号を忘れないように書きなさい。
- 3 解答用紙の※印のところには、何も書いてはいけません。
- 4 答えは必ず解答用紙に書きなさい。

一

次の文章を読み、各問いに答えよ。

この部分については
著作権により公表できません

この部分については
著作権により公表できません

この部分については 著作権により公表できません

(小川洋子「カタツムリの殻」による)

(注) 陸員⇨カタツムリなど陸上で生活する員
コントラスト⇨対比

- (一) A、Cの片仮名を漢字で書き、 B、Dの漢字の読みを
平仮名で書け。
- (二) 線①について、筆者が「思っていた」内容を文章中の言葉を用
いて簡潔に書け。
- (三) 線②が直接かかる部分はどれか。次のア～エから一つ選び、そ
の記号を書け。
- ア 背負うと イ 決意したからには
ウ 生涯それを エ 下ろすことはできない

(四) 線③と筆者が述べるのはなぜか。文章中の言葉を用いて二十五
字以内で書け。

(五) 次の 内は、文章中の a～d のどの段落について説明したものか。
最も適切なものを a～d から一つ選び、その記号を書け。

筆者が意外性を感じた経験を示して、読者にカタツムリへの親しみを
もたせている。

(六) この文章で筆者が言いたい内容として最も適切なものを、次のア～エ
から一つ選び、その記号を書け。

ア 平常心を保って生きるカタツムリのように、自分も自らのペースで
作品を創り出し、小説家として成功する道を模索しよう。

イ 黙々と殻を背負い続けるカタツムリのように、自分も日頃背負って
いるいろいろなことにくじけることなく進もう。

ウ それぞれが異なる個性の殻を持つカタツムリのように、人間も一人
一人異なる存在であるので、互いの違いを尊重しよう。

エ 周りに評価を求めることなく、ひっそりと美を創造するカタツムリ
のように、自分の価値観を大切にしよう。

(七) この文章の述べ方の特色として最も適切なものを、次のア～エから一
つ選び、その記号を書け。

ア 筆者の思いを、情景描写に重ねて具体的に述べている。

イ 筆者の思いを、時間の経過に従って詳細に述べている。

ウ 筆者の思いを、客観的な情報も交えながら素直に述べている。

エ 筆者の思いを、次々と主題を変えながら自由に述べている。



次の文章を読み、各問いに答えよ。

この部分については
著作権により公表できません

この部分については
著作権により公表できません

この部分については

著作権により公表できません

(藤田正勝『はじめての哲学』による)

- (一) 線①の対義語を漢字で書け。
- (二) 線②を、ほぼ同じ意味の漢字二字の熟語に言い換えよ。
- (三) 線③とあるが、「リアリティがまったく失われてしまう」のは、わたしたちの世界をどうとらえて「ピアノの音」を説明するからか。最も適切なものを次のア、エから一つ選び、その記号を書け。
- ア 「ものの本体」から成り立っているわたしたちの世界を、そのときどきの一時的な現れととらえて説明するから。
- イ 「私的」であやふやなわたしたちの世界を、「もの」それ自体の世界ととらえて説明するから。
- ウ 「もの」それ自体の世界と現象の世界には隔たりがないわたしたちの世界を、別々のものとして説明するから。
- エ 「ものの本体」とそれの一時的な現れで構成されているわたしたちの世界を、一つのものとして説明するから。
- (四) 線④とは、どのような「もの」か。最も適切なものを次のア、エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 誰のものでも構わない、自由な見方で把握された「もの」。
- イ わたしたちの見方を離れ、ただそれ自体として存在する「もの」。
- ウ わたしたちそれぞれが、偏りのない見方で認識した「もの」。
- エ 誰の見方がわからず、あいまいでとらえどころのない「もの」。
- (五) 線⑤の文と、その直前の文とを、文脈を変えないように一語の接続詞でつなぎたい。どのような接続詞でつなぐのがよいか。最も適切なものを次のア、エから一つ選び、その記号を書け。
- ア それから イ あるいは ウ しかし エ つまり
- (六) この文章で筆者が述べている内容と合っているものを、次のア、エから一つ選び、その記号を書け。
- ア わたしたちが何かを見て美しいと感じることができるのは、自然科学的なものの見方をしているからである。
- イ 人によって受けとり方が異なるあいまいなものは、真理の領域から排除されるべきである。
- ウ 自然科学により明らかになったことも、わたしたちの生の営みに関係づけられることにより意味をもってくる。
- エ 意識して見ることで始めて、わたしたちを取り囲む物体に「表情」が生まれる。
- (七) 「リアリティ」や「表情」がわたしたちにもたらす効果を、筆者はどう考えているか。文章中の言葉を用いて四十字以内で書け。

三

次の漢詩は、中国の唐時代の詩人丘為の作品であり、下はその書き下し文である。これを読み、各問いに答えよ。ただし、漢詩は返り点を省略している。

左掖梨花 丘為

左掖の梨花

冷艶全欺雪
余香乍入衣
春風且莫定
吹向玉階飛

冷艶全く雪を欺き
余香乍ち衣に入る
春風且く定まること莫かれ
吹いて玉階に向かつて飛ばしめよ

(注) 左掖 中国にあつた役所

梨花 梨の花、花びらは白色

冷艶 冷やかな美しさ

余香 漂ってくる香り

乍 すぐに

玉階 玉を散りばめた宮殿の階段

飛 飛ばしてくれ

(一) 線①とは、梨花の花を何と見まちがうということか。書き下し文から一字で抜き出して書け。

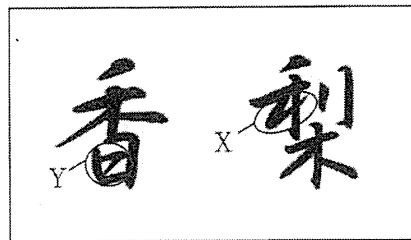
(二) 線②の読み方になるように、解答欄に返り点を書き入れて示せ。

(三) この漢詩の鑑賞として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 起句、承句では香り高い梨花の花の様子が描かれ、転句、結句では春風で梨の香りや花びらが宮殿に届くことを願う気持ちがよまれている。
- イ 起句、承句では梨花の花びらが衣につく様子が描かれ、転句、結句では早く宮殿に春風が吹いてほしいと願う気持ちが表現されている。
- ウ 起句、承句では美しい梨花の花に感動する人々の様子が描かれ、転句、結句では宮殿にも梨の花が咲くことを願う気持ちが表現されている。
- エ 起句、承句では梨の開花を願う人々の様子が描かれ、転句、結句では春に宮殿で梨の花を觀賞したいと願う気持ちがよまれている。

(四)

次の行書で書いた 梨 内の漢字を、楷書で書いたものと比較したとき、梨 で囲まれた部分 X、Y の行書の特徴の組み合わせとして最も適切なものを、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。



- | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|
| ア | X | 点画の丸み | Y | 筆順の変化 |
| イ | X | 点画の丸み | Y | 点画の連続 |
| ウ | X | 点画の省略 | Y | 点画の連続 |
| エ | X | 点画の省略 | Y | 筆順の変化 |

陽一さんのクラスでは、国語科の授業で、三分間程度のスピーチをする学習に取り組んでいる。テーマは「これから挑戦してみたいこと」で、陽一さんは、富士山登頂についてスピーチを行った。次は、陽一さんが発表の際に使用した【メモ】と【3】の提示資料、実際に行った【3】のスピーチの記録の一部である。これらを読み、各問いに答えよ。

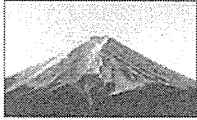
【メモ】

発表の流れ	
1	<p>挑戦したいことは富士山登頂</p> <ul style="list-style-type: none"> きっかけは祖父の体験談 <p>富士山豆知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本一高い山 2013年に世界文化遺産に登録
2	<p>ルート調べてわかったこと (富士登山オフィシャルサイトより)</p> <ul style="list-style-type: none"> 吉田ルートは初心者向け 須走ルートは樹林帯 御殿場ルートは距離が最長 富士宮ルートは距離は最短だが、斜面が急 <p>→吉田ルートで登山予定</p>
3	<p>挑戦を実現するために</p> <ul style="list-style-type: none"> 体力をつけるために毎日3kmのランニングをし、月1回、県内の山を登る。 吉田ルートを詳しく調べ、登山計画を立てる。 <p>※高山病の説明</p>

【3】の提示資料

3 挑戦を実現するために
～登山までにすること～

○体力をつける
○登山計画を立てる



吉田ルート(登り)

約3,700m	分	山頂
	分	9合目
	分	山小屋
約3,000m	分	8合目
	分	7合目
	分	6合目
約2,300m	分	5合目

【3】のスピーチの記録の一部

富士山登頂を実現するために、登山までにすることの二つ目は、提示資料のような登山計画を立てることです。みなさんは、高山病という言葉聞いたことがありますか。高い山では気圧が下がり、酸素が欠乏することにより、頭痛や吐き気などが起こります。そうならないためにも、ゆっくり登ることが重要です。初心者向けの吉田ルートをよく調べ、山小屋で適度な休憩を取るなど、無理がなく、自分の体力に合った計画を立てようと思います。

(一) 陽一さんの【3】の提示資料について説明したものとして適切なものを、次のア～オから二つ選び、その記号を書け。

ア 伝えることを明確にするために、要点を整理し見出しを付けている。
イ 内容に説得力をもたせるために、自分の考えと根拠を書いている。
ウ 視覚的にわかりやすく伝えるために、写真や図表を用いている。
エ 多くの情報を伝えるために、文字数を多くしている。

(二) 【3】のスピーチの記録の一部からわかる陽一さんのスピーチの特徴として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 話の説得力を高めるために、具体的な体験談をいくつか紹介し、聞き手により多くの情報を伝えている。
イ 聞き手に問いかけながら、説明が必要だと思われる用語に補足を加え、わかりやすく伝えている。

ウ 多くの人の考えを示した上で、重要な言葉を繰り返しながら、自分の考えを丁寧に伝えている。
エ 聞き手に興味や関心をもたせるために、さまざまなたとえを用いながら、工夫して伝えている。

(三) あなたが、人の話を聞く上で大切だと思うことについて、次の①、②の条件に従って書け。

条件① 二段落構成で書くこと。第一段落では、あなたが人の話を聞く上で大切だと思うことを具体的に書き、第二段落では、その理由を書くこと。

条件② 原稿用紙の使い方に従って、百字以上百五十字以内で書くこと。